

平成27年3月18日
日本原燃株式会社
東北電力株式会社
東京電力株式会社
リサイクル燃料貯蔵株式会社

下北半島東部の地質構造に関する検討委員会（平成26年度第3回）について

日本原燃株式会社、東北電力株式会社、東京電力株式会社およびリサイクル燃料貯蔵株式会社（以下「4社」という）は、現在、共同で海上音波探査を主体とした下北半島東部の地質構造に関する調査を実施しております。

この調査については、有識者から構成される第三者委員会を設け、客観的な立場から幅広くご指導・ご助言をいただきながら評価を実施していくこととしており、平成25年7月17日に検討委員会の第1回会合が開催されて以降、これまで計5回の会合が開催されております。

（平成25年5月13日、7月26日、11月15日、平成26年1月31日、9月5日、12月24日 お知らせ済み）

このほど、検討委員会の平成26年度第3回会合が開催されましたので、お知らせいたします。

今回の会合では、海上ボーリングコアの分析結果および海陸統合探査の解析・解釈の検討結果について説明するとともに、大陸棚外縁を中心とした下北半島東部の地質構造発達史に関する検討結果について説明しました。

これに対し、各委員から、海上ボーリングコアの分析結果を踏まえた大陸棚外縁における各地層の年代は妥当であるとの評価、海陸統合探査断面の速度構造や反射断面の客観性は高められたとの評価をいただきました。また、海陸統合探査断面に対する地質構造解釈および大陸棚外縁断層を含む下北半島東部の地質構造発達史については、今後、新たな知見の収集や地質構造発達過程に関する解析的な検討についても取り組んでいただきたいとのご意見・ご助言をいただきました。

当委員会については、今回を最終とし、今後、委員会事務局にて取りまとめを進めてまいります。

また、4社においても、これまでいただいたご意見・ご助言等を踏まえて、評価を取りまとめまいります。

なお、今回の会合の開催概要は、別紙のとおりです。

以上